

参加費無料

*** FUSE** ×  **光産業創成大学院大学**

起業・新規事業創成を目指している人へ
それを支えようとする人へ

FUSEアカデミア × 光産業創成大学院大学

第5回

浜松ホトニクスCVCの 投資戦略とグローバルな視点

参加無料

2024. **9.25** Wed
18:30 - 20:00

定員

- ① 対面 FUSE イベントスペース / 50名
- ② オンライン Zoom / 50名

「FUSE アカデミア × 光産業創成大学院大学フォーラム」は

(1)スタートアップに果敢に挑戦する人材の発掘・育成 (2)それを支えるエコシステム創成
について考える機会として企画・開催します。

浜松ホトニクスCVCの 投資戦略とグローバルな視点

講師

浜松ホトニクス・コーポレート・ベンチャー・キャピタル株式会社
シニアアソシエイト 加藤智 (かとうさとし) 氏



講演内容

今回のフォーラムの講師は、浜松ホトニクス・コーポレート・ベンチャー・キャピタル株式会社（浜松ホトニクスCVC）シニアアソシエイトの加藤智様にお願ひしました。浜松ホトニクスCVCは、2018年に10億円の投資枠で設立、2022年に子会社化しています。対象は、設立後日の浅い光技術関連スタートアップであることが特徴です。拠点は、国内ばかりでなく、米国、欧州にもあります。

VCが比較的短期間での財政的リターンを目的としていることに対し、CVCは大企業がスタートアップとの連携による事業シナジーを長期的な視点で求めていくことに特徴があります。CVCもVCの一種と考えてよく、財政的なリターンを期待している場合もあります。CVCは、大企業が新規事業を立ち上げる際や新市場へ進出する際の多くのリスクを、スタートアップ企業への投資で分散しているとも考えられます。スタートアップにとっては、大企業から技術的な支援を受けられるメリットもあるかもしれません。信用、資金、売上げのないスタートアップのCEOにとって、資金調達には創業後の大事な仕事です。VC、CVCに限らず、契約を結んでしまえばパートナーとして、同じ目標、つまり、CEOのビジョンに向かって協業が始まるわけですから、スタートアップは、選ばれる立場であるばかりでなく、選ぶ立場でもあると考えるべきだと思います。浜松発の多くのグローバル企業も、業種を問わずオープンイノベーションの名のもとにCVCを設立しています。本拠地も規模も様々です。ホームページの説明を読んでも、ビジョンが明確になるわけではありません。収益のあがっていないCVCからは、適切なアドバイスが得られるかは不安があります。

講演では、浜松ホトニクスCVCの概要やビジョン、活動内容について紹介していただきます。スタートアップ投資の日本・欧米との違いや、投資を検討するにあたりどのような点を見ているかについてもお話くださるとのことです。業種が違っていても、投資先としてVC、CVC、あるいは、その組み合わせを検討する際の参考にしていただければと思っています。さらに、加藤様には、浜松ホトニクスCVCが考えている浜松地域の光応用産業への貢献についてもお話いただくことになっています。

講師略歴

2004年 浜松ホトニクス株式会社入社、中央研究所、開発本部などでソフトウェア開発に従事。
その後、2019年 浜松ホトニクス内のCVC部門に参画。
2022年10月、CVC子会社設立に伴い、浜松ホトニクス・コーポレート・ベンチャー・キャピタル株式会社へ出向。

アクセス

Co-startup Space & Community FUSE
静岡県浜松市中央区鍛冶町100-1
ザザシティ浜松中央館 B1F

問い合わせ

Mail : info@fuse-hamamatsu.jp
担当 : FUSE / 神村

申し込み

詳細・お申込みは
こちらから →

